



Do you like **some more** ENGLISH?



名詞説明するもの① ~冠詞~

去年大ブレイクし、世界中で流行したピコ太郎さんのPPAP という歌を知っていますか？



では、この歌詞の pen や apple の前にある a や an は何でしょう？



そうですね、そういう「物の名前」のことを「名詞(めいし)」と言います。



その通り！この a や an のことを冠(かんむり)の詞(ことば)と書いて「冠詞(かんし)」と言います。実はこの冠詞というもの、私たちが使う日本語にない感覚なので、日本人が英語を学ぶ上で理解するのにも苦労します。今回はそんな冠詞のお話です。

前回の英語通信 8 号で、名詞には数えられるものと数えられないものがあると言いましたよね。でも、数えられるとか、数えられないとか、あるいは一つかそれ以上か、ということ普段、気にしたことがありますか？

どういうことかという、たとえば、「私は先生です」は、I am a teacher.と言いますが、英語では teacher の前に必ず冠詞(不定冠詞)の a を付けます。和訳すると「私は一人の先生です。」けれども、日本語の文章では、わざわざ「一人の・・・」とつける必要があるか？と思いませんか？あるいは、「私はペンを持っている」というときに、そのペンが一本か何本かって気になりますか？



ということで、a や an に「一つの、一人の」などの訳をつけると不自然な日本語になるから、通常は、訳さないことが多いのです。

また、冠詞からは話題が離れますが、「お母さんと一緒に買い物に行ったのよ」

「歯を磨いたの？」などのときに、英語では必ず

「誰のお母さん？」→「私のお母さん」 I went shopping with my mother.

「誰の歯？」→「あなたの歯」 Did you brush your teeth?

と表現します。



そうですね。私たち日本人にとって、それほど厳密に気にならないことに“こだわる”、というのは、それぞれの言語特有の「考え方」に由来するのです。英語では、その名詞がどのようなものか、ということをはっきりさせる事にこだわります。



さて、冠詞は、名詞に頭つく「冠」だと考えてください。この冠は、名詞が「ひとつ(一人)」でしかも特定できないものか、あるいは特定できるものか、話し手が聞き手に名詞をわかりやすく説明するためにつけます。

- その名詞が「ひとつ」を表す冠は a, an 不定冠詞 (indefinite article)
- その名詞がすでに話題の中で語られていて、聞き手の認識にあるもの、
あるいは「特別」なものを表す冠 the 定冠詞 (definite article)

 **a, an は、教えられる名詞で単数の時につけるって分かったけれど、the の使い方がもうひとつ分からないわ～。名詞を特定するってどういう意味なのかしら？**

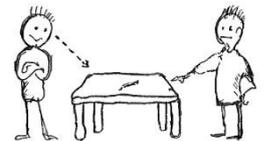
それでは、例をみてみましょう。

I have a pen. この場合のペンは、どんなペンと特定したペンではなく、一本のペンです。



The pen on the table is mine.

となると、聞き手と話し手がいるところにテーブルがあり、その上にペンがある、という状況になります。聞き手は話し手がテーブルの上にあるペン(特定のペン)を指して、自分のものだ、ということを行っていると言っていると理解します。



I have a dog. The dog has long ears.

話し手が「私は犬を飼っている」と話します。そして、続けて、**その**犬は長い耳を持っていると言います。聞き手は、dog の前に定冠詞 the があることで、長い耳を持っているのは、話し手が飼っている犬のことだ、と理解します。

 **なーるほど。もし、a dog has long ears だと、どの一匹の犬のことを言っているか分からないということですね？**

そういうことです。ここで、少しだけ冠詞の語源にもふれておきましょう。上の例文のように日本語で、the を「その」と訳すことがあります。もともと、定冠詞の the は、指示代名詞(その、あの)の要素を持っていました。その昔、古英語の時代では the と that の区別はなく、this, these, those も the, that と同じ語源の派生語だそうです。ということで、the の中には「その」という意味が含まれることがあるのです。

また、不定冠詞の an は、母音で始まる名詞の場合、冠詞の a が前につくと発音がしにくいから、a に n をつけたと思われがちですね？しかし、実は、one を意味する古英語 an(12世紀半ば)の方が古く、an から n が消えた形の a が子音の前に使われるようになったのは、200年後の14世紀半ばからだそうです。

英語を母国語とする人以外は、理屈でわかって、なかなか定冠詞を使いこなすのは難しいと思います。今回は、例文とともに名詞を説明する言葉について、さらにお話しを続けます。



To be continued...